

✦ ご挨拶



春風によって、ほのかな花の香りが漂うころとなりました。例年より早く富山でも「開花宣言」が…。いよいよ心躍る季節の到来ですが、「花冷え」と言われる寒さを感じる時もあります。皆様お身体を大切にお過ごしくださいませようお祈り申し上げます。

✦ 「咬み合わせ」って何だろう？

先日、不思議なお問い合わせがありました。年の頃は20～30才代の女性でしょうか、『詰め物が取れたので歯科医院に行ったら、「あなたの咬み合わせが悪いので、何度作り直しても同じです。歯の矯正をしなければ絶対に良くなりません。』と言われました。その先生の言うとおりの、やはり矯正をした方が良いでしょうか？』…当院に通院されたことがない方からお電話でのご相談。

なぜ【詰め物が取れた ⇒ 歯の矯正】という話になったのか、いきさつがよく分からず困ってしまったのですが、「咬み合わせを良くすること」＝「歯並びをキレイにすること」だと勘違いしていらっしやることは理解できました。

そこで、おさらいです。「咬み合わせ」とは、単に上下の歯が接触する状態を言います。「歯並び」とは全く違うものです。

咬み合わせ ≠ 歯並び

「咬み合わせが良い」というと、健康的で「キレイな歯並び」を連想されるかもしれませんが、反対に「咬み合わせが悪い」のは「悪い歯並び」を思い浮かべるかもしれませんが、実は「咬み合わせ」と「歯並び」とは直接関係がありません。

つまり、全ての歯が生まれ持った「天然の自分の歯」であれば、自分自身の身体に合わせて「歯並び」が決まっており、「咬み合わせ」が悪いとはいえないのです。

ただ、ここに不良な（自分の身体に合っていない）人工の詰め物や被せ物が入ってくると、話は違ってきます。それまで調和が取れていたものが、外部から侵入してきた人工物で崩れ、「咬み合わせ」が悪くなることが考えられます。たった1本の歯科治療で、その後の人生を左右する場合もありえるのです。

困ったことに、「咬み合わせ」に関して統一された見解はなく、歯科大学でも画一的に教えられる程度です。そのため、歯科医の間でも「咬み合わせ」を良くすることが、単純に「歯並び」を整えることだと捉えられている場合もあります。

「咬み合わせ」は姿勢に左右されて、変化し続けるという概念は、実はあまり知られていないのです。

「詰め物が取れた」原因は何だろう？ アプローチの仕方はドクターによって様々です。しかし、患者さんの全体を診ないと予後が悪くなるばかりか、信頼関係も損ねてしまいます。

全身の健康を創る源は、「歯」にあります。姿勢の変化は、加齢（老化現象）に伴う筋力低下から生じる場合もあります。「治療が終了したら、ハイ終わり」ではなく、定期健診を通じて皆様と長いお付き合いをさせていただき、それは、患者さんの現在の状態に合わせて「咬み合わせ」を診ていくためでもあります。いまさらですが、本当に定期健診って大事ですよ。

✦ お知らせ



< G・W（ゴールデンウィーク）休診のお知らせ >

4月29日（金）～5月5日（木）まで

休診いたします。

ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。